

# 第20回宇部・小野田圏域緩和ケア 事例検討会

切れ目のない緩和ケアを実施するために、地域の医療従事者が集い、  
多職種による事例検討を行います。

今回は、外出が困難な状況の中で母としての役割を何とか果たしたいという希望を強く  
持っていた絨毛がんの患者さんが、家族の支えと医療者の協力で希望を果たすことがで  
きた事例を振り返ります。病院では、大切な最期の時間に子どもが十分に関わることがで  
きず、死別になることが少なくありません。不安を抱えた患者とその子どもへの理解を深  
め、患者・家族が望む療養や療養先へ円滑に連携できるようにするためには、私達はど  
のように取り組んだらよいかについて考えていきたいと思ひます。

訪問看護ステーションあん・古賀先生にもお越しいただいて、地域での子どもへのサ  
ポートの実際など在宅緩和ケアについてご紹介をお願いしております。皆様のご参加をお  
待ちしております。

日時：平成31年2月7日(木)17:30～18:30(17:00受付開始)

場所：山口大学医学部附属病院 新中央診療棟1階多目的室1

(別紙会場案内図をご参照ください)

※お車でお越しの方は病院外来の駐車場をご利用ください。

駐車券は、無料パンチをいたしますので、会場までご持参ください。

参加費：無料 対象：医療関係者

17:30～17:45

緩和ミニレクチャー

「親ががんになったとき子どものためにできる在宅でのケア」

訪問看護ステーションあん 古賀 博美先生

17:45～18:30 (各演者7分程度、全体討議30分)

「『運動会に行くからね』患者・家族の希望に沿った外出への  
支援ができた絨毛がん事例」

山口大学医学部附属病院 産科婦人科 梶邑 匠彌先生

山口大学医学部附属病院 看護部 永見 友希先生



お問い合わせ先：山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター事務局

Tel : 0836-85-3070 FAX : 0836-85-3071

E-mail : [y-kanwa@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:y-kanwa@yamaguchi-u.ac.jp)

共催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター(平成30年第9回緩和ケアセンターセミナー)

山口大学医学部附属病院腫瘍センター(第100回腫瘍センターセミナー)

中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム(平成30年第8回がん治療スキルアップセミナー)